



福祉教育をやってみませんか？

～総合学習の時間にこんなことやりました！～

私たちは、高齢者、障害のある人など、いろいろな人たちが住む地域で暮らしています。同じ地域で暮らす人たちの生活や言葉に触れて、教科書からでは学べないことを体験してみませんか？

視覚障がい理解編

●視覚障がい者のお話

視覚障がい者の日常生活や、困っていること、ちょっとした手助けについてお話しました。視覚障がいのある山田さんによる国語・算数の授業も実施！

●点訳体験

点字の名刺づくり。日ごろ広報誌等を点訳して、視覚障がい者へ情報を届けている点訳ボランティアのポイント・テンさんが教えてくれました。



聴覚障がい理解編

●聴覚障がい者のお話

冒頭には、「だれが耳の不自由な方でしょうか？」クイズを実施。こんなときに手助けしてほしいこと、便利な物があって生活しやすくなったことなどお話しました。

●手話体験

手話通訳ボランティアもみじさんが、挨拶、自己紹介などを手話で教えてくれました。また、手話で校歌を歌いました♪



車いす体験編

●車いすの押し方、仕組み

ボランティアグループ向日葵くらぶさんによる、車いすの押し方講座。学校内からグラウンド等外で車いすに乗る、押す体験をして、車いすに乗る人の気持ちが少し分かりました。

●介護と車いす

脚のどこを持つと車いすに乗る方が楽かなど、介護の視点で車いす体験。東区介護保険事業所職員が講師となりました。



高齢者を理解する編

●認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、できる範囲で認知症の方を手助けする認知症サポーターを養成する講座。講座の中では、認知症の方への対応方法をグループワークで考えました。

●高齢者擬似体験

高齢者擬似体験セットをつけて、高齢者になると動きにくくなることを体験。また、高齢者が歩くときのサポートについても体験しました。



◎講師は東区内で活動するボランティアさん、東区社協、東区いきいき支援センター、東区介護保険事業所が行いました。

体験した児童・生徒のみなさんの感想(抜粋)



●視覚障がいのある方のお話を聞いて(小学5年生)

「目が見えない人は、何もできなくてずっとだれかに手伝ってもらわないといけないと思っていたけれど、(お話を聞いて)ほとんど自分でテキパキとできていたので、しょうがい者だからといってなにもできないわけじゃないんだと思いました。」

●車いす体験をして(中学1年生)

「今日の経験で介助者と要介助者とのコミュニケーションが大切だと感じました。今後もこの経験を生かしていきたいです。」

●高齢者擬似体験をして(小学5年生)

「ぼくは、今までかわいそうだなと思ったこともあったけど、これからはかわいそうじゃなくて、こまっていたら助けてあげたいです。」

●聴覚障がいのある方のお話を聞いて(小学6年生)

「障害者というのは、つねに人の助けを必要としているような人なのかというようなことを思っていたのですが、お話をきいて、自分でできることも多いんだなと思いました。障害者の人もふつうの人も平等な社会になるいいと思いました。」

☺総合学習の時間にとどまらず、家庭科、算数、国語、社会、体育の時間に。福祉を知るきっかけのレクリエーションとして。取り入れてみませんか？



ご相談・お問合せ先

東区社会福祉協議会

〒461-0001

東区泉2-28-5 高岳げんき館

電話:932-8204 FAX:932-9311

平日9:00~17:00 (担当・成田)

